

飯田できょうペギー葉山さんの歌声

念願の「まほろばの国」



ペギー葉山さんに「まほろばの国」を歌ってくださるよう
に頼んだ熊谷正宏さん

千葉在住の 熊谷さん依頼 故郷思う心通じ

飯田市の飯田文化会館で二十一日開かれる「第八回飯田地区童謡唱歌まつり」（飯田童謡・唱歌をうたう会主催）で、歌手のペギー葉山さんが往年のヒット曲「まほろばの国」を歌う。一九六三（昭和三十八）年、信越放送が「長野県を美しくする運動」のキャンペーンソングとして連日、ラジオ、テレビで流した名曲。飯田市の中学校時代に慣れ親しんだ熊谷正宏さん（五十）は「千葉県沼南町」がペギーさんに電子メールで頼み、実現した。

熊谷さんは、昭和三十一年、県で開かれた同小の同国を歌いたい」と考え、同年、同市・丸山小学校の級会で世話役となり、同校に「信州の素晴らしい曲だった」といふ。ところが、メロディは浮かぶものの、歌詞を思い出せない。ペギーさんに電子メールを直接送り、歌詞を覚えてくれるように頼んだ。ペギーさんからは、魔盤になったドーナツ盤からカセットテープに録音して送るとの返事が届いた。同級会ではテープを聞きながら、「まほろばの国」の大合唱が実現した。

熊谷さんは今年四月、ペギーさんのホームページで、ペギーさんが二十

一日の「童謡唱歌まつり」に出演すると知り、「まほろばの国」を歌ってくださるようお願い。快諾してもらった。

感激した熊谷さんは、メールで友人たちに、当日、会場に集まるよう呼びかけている。「故郷を離れて三十七年。『まほろばの国』を歌える喜びと、素晴らしい長野県に生まれたいことをうれしく誇りに思います」

ペギーさんは舞台の最後に「まほろばの国」を、観客にも一緒に歌うように呼び掛ける。

「まほろばの野づらにあかく灯をとす香（あぐさ）の花よ あふれゆく春の息吹に手をのびて 浅間の山もひとすじの恋のけむりを今日もまた空にさける」。

熊谷さんも精いっぱい歌うつもりだ。